　【応募者情報】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 氏名：〇〇　〇〇 | | 計画書作成日：令和〇年〇月〇日 |
| 所属：岡山大学〇〇学域、〇〇研究科、〇〇学部  職名：教授、准教授・・・・・・ | | |
| メールアドレス：〇〇〇〇@〇〇〇 | | |
| 【計画内容及び達成目標】※記入例も参考に、具体的かつ簡潔に記載ください。提出時、記入例は削除ください。 | | |
| 取組名 | 〇〇〇〇〇〇に向けた〇〇〇〇の課題解決と〇〇〇〇の推進 | |
| これまでの取組  (これまでの起業関連の取組について100～200字程度で記載ください。) | ＜記入例＞  これまでに〇〇に関する活動をおこなっており、〇〇〇〇というビジネスプランコンテストにて〇〇の成績を収めるなど、着実に成果を積んできている。現在、起業に向けて〇〇〇〇の点を今後の課題と認識している。 | |
| 取組概要  （本取組期間中に取組む内容、実現しようとしている事業の独自性・独創性・ターゲット・実現可能性、及び取組期間終了後の展望について600字程度で記載ください。また、必要に応じて取組内容にかかる資料やパンフレットなどを別添として追加いただいても構いません。） | ＜記入例＞  （課題と具体的な取組）  これまでの取組において課題であった〇〇及び〇〇について、〇月ごろに〇〇〇〇を実施し、〇〇の研究や〇〇の実験を拡大することで、〇月ごろには、〇〇〇〇が達成できる見込みである。  （取組を通じて将来実現しようとしている事業の独自性・独創性）  本取組で実現を目指す〇〇〇〇は、〇〇〇〇という点で、〇〇〇〇という特徴がある。  （取組を通じて将来実現しようとしている事業のターゲット・実現可能性）  本取組で実現を目指す〇〇〇〇は、〇〇〇〇をターゲットとし、〇〇〇〇  という理由から、実現可能性も高いと考えられる。  （次年度以降の展望）  また、取組期間終了後、〇〇〇〇の活動を行う予定であり、次年度以降、〇〇〇〇の状況が想定される。  〇〇年度中には、起業（登記）予定。 | |
| 達成目標  （本起業支援事業の終了時点で、何を達成するかを記載ください。） | ＜記入例＞  取組期間終了時点（R4.２月末）において、〇〇〇〇の成果を踏まえ〇〇〇〇の体制を構築し、起業まで〇〇〇〇の段階を残す状態まで至ることをもって成功とする。 | |